

買田池 (かいだいけ)

位置図



諸元

貯水量	559 千m ³
満水面積	12 ha
集水面積	77 ha
受益面積	77 ha
堤高	11.4 m
堤長	597 m

買田池は善通寺市東部にあり、善通寺市では最も大きな池です。昔、この池は、如意山と鉢伏山の谷あい位置する小池であり「諏訪谷池」と呼ばれていました。慶長17年(1612年)、当時の七カ村(東西木徳村・郡家村・柞原村・原田村・金蔵寺村・与北村)の農民たちの合議により、周辺の田を買い取って拡張したため「買田池」と名命されたと伝えられています。

その後も灌漑用水が不足するため、高畑権兵衛が計画したまんのう町^{めおといよこい}から買田池までの6kmにおよぶ承水溝の開発、1703年、1731年に池の底を掘り上げ、1859年には嵩上げによる改修工事が繰り返されています。その際「地づき歌」に合わせて堤を築いていたと言われており、当時の歌や所作が「地づき踊り」として地元小学校の子供たちに引き継がれています。

近年では、老朽ため池整備事業(昭和51年～54年)により全面改修された池のほとは、市民運動公園やヘルシーコース(1周1.3km)も整備され、憩いの場として親しまれています。



買田池



記念碑